

## 令和3年度日本語学校教育研究大会日程

日程：令和4年2月26日(土)、27日(日)

テーマ：日本語学校教育の挑戦Ⅱ－ with コロナ ・ post コロナ ・ そして New normal へ －

1日目 2月26日(土)

定員 450人

10:00～10:30	開会挨拶 一般財団法人日本語教育振興協会理事長 佐藤次郎 来賓挨拶 大会趣旨説明 大会委員長 大会委員長 大嶋智規(ヒューマンアカデミー日本語学校東京校 教務主任)
10:30～11:15	講演「出入国在留管理行政の現状と課題」 出入国在留管理庁在留管理支援部在留管理課補佐官 増田栄司
11:15～12:00	講演「日本語教育の資格化、類型化。日本語教育の参照枠(仮)」 文化庁国語課 担当官

13:00～15:00	分科会「オンライン授業と日本語教育 DX」 柳澤好昭(専修大学国際コミュニケーション学部 兼任講師)
	分科会「日本語教育の参照枠と日本語学校教育を考える －世界の教育の潮流と教育カリキュラムの改善事例を参考に－」 <b>事例発表</b> ヒューマンアカデミー東京校、カイ日本語スクール <b>パネルセッション</b>
	奥村三菜子(NPO 法人 YYJ・ゆるくてやさしい日本語のなかまたち副理事) 真嶋潤子(大阪大学 名誉教授) 松井孝浩(文化庁国語課 日本語教育専門職) 奥田純子(コミュニカ学院 学院長)(進行)
	分科会「地域と日本語学校教育」 森恭子(新宿日本語学校 副校長) 得猪節子(ジェット日本語学校 教務主任) 荒川友幸(日本国際工科専門学校日本語科 教務課長)
15:10～16:00	企業・団体展示ブース
16:10～17:00	交流会

2日目 2月27日(日)

10:00～12:00	分科会「魅力ある授業を考える！～New Normal な日本語教育デザイン～」 鈴木克明(熊本大学 教授システム学研究センター 教授)
	分科会「冒険家メソッド～自由に危険なネットの海で第二言語をいかに習得するか～」 村上吉文(国際交流基金 日本語上級専門家)
	分科会「日本語学校 Re デザイン」 早川克美(京都芸術大学大学院 学際デザイン研究領域 教授)

13:00～13:30	ニュースアプリを利用した授業実践について 吉田美香(中央工学校附属日本語学校)
	ハイブリッドでクリスマス発表会 岩下愛(神戸 YMCA 学院専門学校 日本語学科)
	Meaning-focused Input, Meaning-focused Output, Fluency Development を組み込んだ学習のデザインと実践 平山允子(日本学生支援機構東京日本語教育センター)
	初級終了レベルの就労者向け日本語授業 — ケース学習授業の実践 — 倉本文子(カイ日本語スクール)
	オンラインテストへ向けての実践報告——「漢字」と「語彙・文法」—— 中尾香(大阪 YMCA 国際専門学校)
13:45～14:15	Microsoft Teams における『音読の練習』の実践報告とその可能性 横山萌(大阪 YMCA 国際専門学校)
	post コロナに向けた教員の情報交換の場づくりについて～オンライン座談会の実施から見えてきたこと～ 高橋洋子(ミッドリーム日本語学校)
	デジタルボードを使用したオンラインと教室のハイフレックス授業の実践 内藤夕子・吉田幸世(カイ日本語スクール)
	進学準備と授業やイベントの関係性 登坂ふたば・伊藤和葵(早稲田 EDU 日本語学校)
	ことばの暴力性・権力性に触れ、新たな言語観を育む試み—戦前・戦中・戦後の日本語データを中心に— 萩原秀樹(インターカルト日本語学校)
14:30～15:00	Flipgrid を活用した音声指導や会話練習 池田咲月(名古屋YMCA日本語学院)
	日本語学校中級クラスと高校との交流授業を通して気づいたこと 上谷崇之(大阪日本語学院)
	活動中心の中級クラス授業—総合教科書を使わないカリキュラムの実践報告— 浦由実(アン・ランゲージ・スクール成増校)
	初級学習者向けエントリーシート作成教材の開発 森末浩之(Sun*・ダナン工科大学)
	聴解指導における実践報告—「質問タイム」の活動を通して— 池口純恵(北京語言大学東京校)

※なお、日程については当日一部変更になることがあります。ご了承ください。